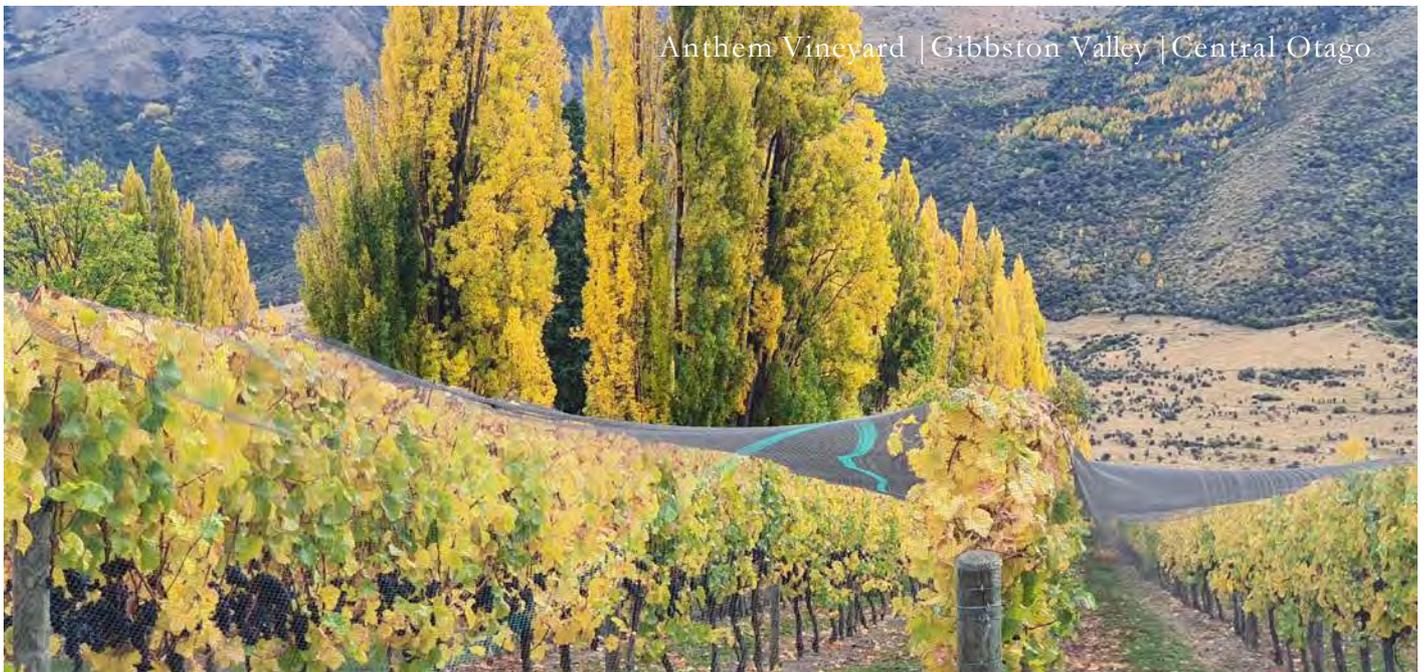


# アンセム・ヴィンヤード ピノ・ノワール2023への称賛 | ワイン・アドヴォケイト

'[Central Otago: Touching Base](#)', オーストラリア在住のワインライター、エリン・ラーキンがロバート・パーカーの『ザ・ワイン・アドヴォケイト』向けに最新のニュージーランドレポートを発表した。「セントラル・オタゴ：基盤を固める」と題された本稿でラーキンは、同地域の決定的な強みを強調。「最良のワインは風味豊かで骨格がしっかりし、驚くほど凝縮されている。これは長期間の樹上熟成と強い紫外線によってもたらされる特性だ」と記している。さらに同地域が多様性に富む点を強調し、バノックバーン、ギブストン、ベンディゴ、アレクサンドラ、ピサといったサブリージョンが標高、土壌、降雨量、風向き、日照条件で大きく異なるにもかかわらず、果実味の凝縮感とセントラル・オタゴを明確に特徴づける独特の酸味ラインによって統一されていると観察している。こうした背景のもと、評価の高いギブストン・バレー産の「Blank Canvas アンセム・ヴィンヤード ピノ・ノワール」は本レポートで最高得点の一つを獲得。ラーキンは「しなやかで繊細、細部まで洗練された」特性を称賛している。



Robert Parker  
WINE ADVOCATE

## 2023 Blank Canvas Anthem Pinot Noir

Rating	Release Price	Drink Date
93	NA	2025 - 2038
Reviewed by	Issue Date	Source
Erin Larkin	Dec 09, 2025	

2023年アンセム・ピノ・ノワールはしなやかで繊細、きめ細やかで上品な味わい。チェリー、ストロベリー、スターアニス、ピンクペッパーコーンのニュアンスに、ほのかなタブナードの余韻が感じられる。軽やかな骨格の非常に美しいワインで、余韻が長く続く。アルコール13.5%、スクリュューキャップ。

**Producer:** Blank Canvas

**From:** New Zealand, Central Otago,

**Color:** Red

**Type:** Table

**Sweetness:** Dry

**Variety:** Pinot Noir

# ニュージーランド・ピノ・ノワールの洗練された姿 - オールド・ヤロウ | ヴィノグラフィ -

『The Refined Shape of New Zealand Pinot Noir』アルダー・ヤロウが昨年ニュージーランドで開催されたピノ・ノワール会議に際して同国を訪問し、約150種のニュージーランド産ピノ・ノワールを分析した報告書『洗練されたニュージーランド産ピノ・ノワールの姿』が最近発表された。同報告書は、このカテゴリーが新たな洗練の域に達している実態を描き出している。地域を問わず、抽出の軽やかさ、より繊細なタンニン、そしてテロワールの透明性が高まる方向への変化が指摘されている。この進化により、ニュージーランドのピノ・ノワールはこれまで以上にエレガントでテロワールを反映したものへと位置づけられている。セントラル・オタゴとノース・カンタベリーがトップを独占しているが、マルポロも数軒の傑出した生産者によって強い存在感を示している。中でもブランク・キャンバスはマルポロを代表する強豪の一つであり、3つの単一畑ピノ・ノワール全てが9~9.5点の評価を獲得。ベル・ヒル、アタ・ランギ、フェルトン・ロードといったニュージーランドを代表する名門ブランドと同等の品質レベルに位置づけられている。エスカロス・ヴィンヤード（テイラー・パス）、セトルメント・ヴィンヤード（オマカ）、アプトン・ダウンズ・ヴィンヤード（アッパー・アワテレ）はそれぞれ、精密さ、芳香の高揚感、構造的な洗練さが称賛されている。これらはヤロウが常にニュージーランド最高峰のピノ・ノワールに結びつける特性だ。流通業者にとってメッセージは明確だ：ブランク・キャンバスは、産地を問わず稀に見る一貫性で世界クラスのピノ・ノワールを提供し、技術的熟練とテロワールの表現力における評判を確固たるものにしていく。最高級ニュージーランド産ピノ・ノワールの需要が高まる中、多くのベンチマーク銘柄の確保が困難になるにつれ、本レポートは貴重な販促・ブランド構築の機会を強調している。



2021 ブランク・キャンバス「エスカロス・ヴィンヤード-テイラー・パス」ピノ・ノワール、マルポログラスに注ぐと中程度のガーネット色。チェリーとハーブの香りが立ち上る。口に含むと、チェリーの果実味を包み込むような香ばしいハーブのニュアンスが感じられ、塩味を帯びたエッジと柑橘系のほのかな香りが、ラズベリーを思わせる余韻へと導く。複雑で魅力的、余韻が長く響く。スコア：9 - 9.5

2023 ブランク・キャンバス「アプトン・ダウンズ-アッパー・アワテレ」ピノ・ノワール、マルポロ淡いから中程度のガーネット色。香りは青々とした茎のハーブとラズベリーの葉。口に含むとラズベリーの果実味と葉のニュアンスが柑橘の皮と混ざり合い、ほのかなタンニンと鮮やかな酸味が支える。フレッシュでエネルギッシュ、生命力に満ちた響き。スコア：9 - 9.5

2021 ブランク・キャンバス「セトルメント・ヴィンヤード-オマカ」ピノ・ノワール、マルポログラスに注ぐと中程度のガーネット色。太陽で温められた岩と乾燥ハーブの香りが漂う。口に含むと、チェリーとラズベリーの果実味がハーブのニュアンスと調和し、繊細なタンニンが支える。緑のハーブのニュアンスと高揚感のあるアロマが、長く香る余韻へと続く。実に素晴らしい香り。スコア 9 - 9.5

ニュージーランドのピノ・ノワール  
は苦勞を重ねてきた。今こそ、その  
現状を受け入れる観客に値する。

- オルダー・ヤロウ -



# ブランク・キャンパスの自社畑アップデート



オマカでは、ブランク・キャンパス・ホーム・ヴィンヤードの構想を実現するため、多くの作業が続けられています。改造した輸送用コンテナを敷地の一番低い場所から、土地で最も高い地点の一つへ移動させました。これにより、ブドウ畑全体と東海岸まで見渡せるパノラマビューが実現しました。

新年にはコンテナの清掃と塗装を行い新たな命を吹き込み、すでに特別なペルーからのゲストを迎えました。

世界的に有名な「アストリッド・イ・ガストン」のヘッドソムリエ、ホセ・カレラ氏、大阪レストランのセサル・ワナチ・チュラ氏、ソムリエ兼ブランドアンバサダーのミルタ・ノセダ氏、そしてペルーのキワイン社輸入担当者バジル・ミシェフスキー氏です。

一方、ブドウ園のメイン「ハブ」となる施設は建設中。ブドウ園を見渡すブドウ園小屋とプライベート試飲・接待エリアが順調に形になりつつあります。収穫期までに完成することを願っています！



# 「接ぎ木」の技法に迫る (YOUTUBEチャンネル開設！)

このたび私たちはYouTubeチャンネルを再開し、新たなシリーズ『Blank Canvas Unfiltered』をスタートさせました。『Blank Canvas Unfiltered』は、マットとソフィーをガイドにワインの世界の幕を上げることを目指します。

ユニークな舞台裏シリーズとして設計され、ワインの技法、科学、物語に深く潜り込み、複雑なワイン造りのトピックを分解し、一般的な誤解を明快さ、時折のユーモア、そして常に誠実さをもって取り上げます。

各エピソードでは専門的な知見と実体験を融合させ、ワインの繊細な魅力を分かりやすく、そして純粋に楽しめる形で届けていきます。フィルターなしの対話。分かりやすい解説。紛れもないBlank Canvasのスタイル。

第1話では、接ぎ木技術において驚異的な経験と才能を持つ人物、ナイジェル・ステッド氏を招きました。当社の新たなブランク・キャンバス・ホーム・ヴィンヤードで21,000本のブドウ樹の接ぎ木を任されたナイジェル氏と共に、この神秘的で時に秘伝とされる接ぎ木技術を探求します。彼はこの技法を42年間実践してきたベテランです。本動画ではナイジェルが接ぎ木の工程を段階的に解説。技術と忍耐、そして土地への信頼によってブドウ畑が再生する姿を伝えます。

この動画の翻訳をご希望の場合は、お問い合わせください。英語の文字起こしをお送りしますので、ご自身で翻訳いただき、字幕オプションとしてアップロードいたします。また、視聴者の皆様にワインの魅力を伝え、その神秘を解き明かすエピソードを制作・公開し続けますので、ぜひYouTubeチャンネルの登録をお願いいたします。

→ [You Tube Channel](#)



# ようこそ、フレイン！

このたび、輸出・物流・経理マネージャーとして当社のブランクキャンバスファミリーに加わった、新たなチームメンバー、フレイン・ヘイゼルダインをご紹介しますことを大変嬉しく思います。

## About Frayne:

フレインについて：フレインの物語はマルボロで始まる。田舎暮らしに彩られた幼少期が、農業とワイン造りのリズムへの初期の興味を呼び覚ました。その土地との絆は、夫と共にノースカンタベリーで羊と牛肉の牧畜に従事した年月を経てさらに深まった。

この経験は二人の子供をもたらし、季節性、回復力、そして一次産業を支える不屈の精神への新たな理解をもたらした。故郷のマルボロに戻ったフレインは、ワイン業界での様々な職務を通じて磨かれた、金融・物流・事業計画における確固たる経歴を持ち込む。ブドウ畑から瓶詰め、市場に至るまでの各工程がどう連動するかを本能的に理解し、品質重視のワイナリーを円滑に運営するために必要な細部へのこだわり、規律、前進する勢いの中でこそ力を発揮する。

ブドウ畑や醸造所周辺での実践経験が、醸造技術への真摯な情熱を育んだ。農業と同様に、ワインを「人・土地・時間」の物語と捉え、その旅路の一端を担うことに喜びを見出している。

ブランク・キャンバスにおいて、フレインは輸出、物流、経理を支える冷静で有能な存在です。当社のワインを世界へ、そして皆様の市場へ、可能な限り円滑に届けることに注力しています。ブランク・キャンバスを特徴づける創造性と精密さに活力を得て、マットとソフィーと緊密に連携しながら専門性をさらに高めていくことに意欲を燃やしています。フレインにとって、チームへの参加は帰郷であり新たな章の始まりです。マルボロに根ざし、この地域の発展に貢献し、私たちが故郷と呼ぶこの特別な土地の本質を語るワイン造りを支援することに情熱を注いでいます。フレインは、物流・輸出・管理業務におけるサポートと専門知識を提供するため、皆様との緊密な連携を楽しみにしております。



# 新リリース: ‘タノ’ and ‘アブストラクト’ 2024年VTG

先週クライストチャーチで開催された国際冷涼気候ワイン会議が閉幕した今、有望なブラインドリバー地域にスポットライトを当てるのはふさわしいでしょう。この地質学的に複雑な沿岸の小さな地域は、私たちの仕事場として急速に人気を集めています。まさに最先端の環境です。親しい友人であるターナー家がリースリングとシャルドネを栽培するアナンデール・ファームは、この地域の中心に位置しています。ここで私たちのワイン造りは、この冷涼気候がもたらす果実の純粋さと緊張感を尊重することを基本方針としています。

今年最も待ち望まれたリリースの一つが、この畑から生まれる2024年「タノ」シャルドネです。初ヴィンテージが驚異的な反響を呼び即完売したことに続き、第二弾となる本作をお届けできることを大変嬉しく思います。このワインには私たちにとって深い個人的な思いが込められています。

## The story behind ‘Tano’

ガエターノ・「ターノ」・トビンは先見の明を持つ指導者であり、良き師であり、親愛なる友人であり、2021年に突然この世を去りました。彼はヴェネト州ソアーヴェのクリュを確立し推進する上で極めて重要な役割を果たし、マットは20年以上にわたり彼と共に働きました。この共有された哲学、そしてそれを形作った友情が、ターノの人生をこのワインで称えるきっかけとなりました。

「シャブリスタイル」のシャルドネという言葉は近年多用されていますが、真に冷涼な気候がなければ実現はほぼ不可能です。早期収穫だけでは深みのない痩せた味わいしか生まれません。私たちにとって真のシャブリの個性とは、酸味と豊かさの相互作用にあり、このワインはそのバランスを、畑と醸造技術の両方によって実現しています。19ヶ月に及ぶ長期の澱熟成一ターノ氏特注のポッティ（樽）が2基目（その後さらに2基追加されましたが...）導入されたことで可能となった——が、このワインの質感、豊かさ、余韻を計り知れないほど高めました。マールポロ・シャルドネの未来は明るく、世界もその存在に気づき始めています。



# 新リリース: ‘タノ’ and ‘アブストラクト’ 2024年VTG

## ホールダウェイ家との10年

今年で、卓越したホールドウェイ家とディロンズ・ポイントにある彼らの傑出したソーヴィニヨン・ブラン畑との協業も10年目を迎えます。私たちにとって偉大な畑の証は、あらゆる季節において安定した品質を供給できる能力です。自然の恵みと、思慮深く精密な栽培技術の調和こそが、この地に存在する幸運なのです。

2024年産『アブストラクト』スリー・ロウズ・ソーヴィニヨン・ブランは、先代たちの遺産を継承しつつ、自信に満ちた現代的な表現——マルボロの再解釈として存在感を示しています。フレンチオークのパンション樽（新樽15%）で全固形分を用いた野生酵母発酵後、清澄・濾過を行わず15ヶ月熟成。

アブストラクトは紛れもない質感、深み、個性を持っています。これらのワインは今月正式にリリースされます。まだ割り当てを確保されていない方は、今がチャンスです。



Blank Canvas

NEW ZEALAND

[www.blankcanvaswines.com](http://www.blankcanvaswines.com)

*It all starts with a  
Blank Canvas*

SMALL BATCH / SINGLE VINEYARD

DIABLO

1742